



児童手当の使い道アイデアまとめ

児童手当は、子どもの成長や家庭の負担を軽減するための大切な資金です。

この資料では、具体的な使い道と計画の立て方を紹介します。

1. 教育関連の費用

①教科書・学用品

小中学校では毎年、筆記用具やノートの買い替えが必要です。

また、高学年になると辞書や参考書も必要になることがあります。

例: ノート(500円)、鉛筆やペン類(1,000円)、辞書(3,000円～)

➡ 年間予算目安: 5,000～10,000円

②習い事・塾費用

子どもの興味やスキルアップのための習い事や塾費用に充てることも効果的です。

例: ピアノやスイミング (月額5,000～10,000円)、学習塾 (月額10,000～30,000円)

➡ 年間予算目安: 6万円～36万円

③進学準備

中学・高校入学時には、制服代、体操着、カバンなどの購入が必要です。

例: 制服一式 (約50,000円)、学用品 (約20,000円)

➡ 入学時予算: 7万円～10万円





児童手当の使い道アイデアまとめ

2. 子どもの将来のための貯蓄

①教育費の貯金

将来の大学進学や留学費用を見据えて、児童手当を貯金する家庭も多いです。

大学進学に必要な費用例:

私立大学文系: 約700万円

私立大学理系: 約850万円

➡ 毎月の児童手当を積立貯金に設定



②新NISAの活用

新NISAを利用し、効率的に資産形成する方法があります。

例: 毎月10,000円を投資信託に積み立てる。

③学資保険の活用

満期時に一定の金額を受け取れる（教育資金の確保）

保険契約者（親）が万が一の場合でも支払いが免除される仕組みがある。

例: 毎月15,000円の保険料で18歳時に300万円受取（商品による）

3. 子どもの健康と生活費

①医療費の備え

定期健診や予防接種、風邪やけがでの通院費用を確保。

例: 診療費 (1,000円/回)、薬代 (500円~1,000円)

➡ 年間予算目安: 5,000~10,000円



②衣類・靴の買い替え

子どもは成長が早いため、季節ごとに服や靴の買い替えが必要です。

例: 靴 (3,000円/足)、衣類一式 (10,000円/シーズン)

➡ 年間予算目安: 4万円~8万円



児童手当の使い道アイデアまとめ

4. 家族全体の生活向上

①家計補助

毎月の児童手当を家計に組み込むことで、食費や光熱費の負担を軽減。

例: 食費 (月1万円の補助)、光熱費 (月5,000円の補助)

➔ 年間予算: 18万円程度

②家族イベント

家族での旅行や特別な体験に活用。

例: 日帰り旅行 (5,000~10,000円)、宿泊旅行 (30,000円~)

➔ 年間予算目安: 3万円~10万円



5. 緊急時の備え

①緊急用貯金

突発的な出費に備え、1~2ヶ月分の生活費を目標に貯金する。

例: 家電の修理 (20,000円)、親の医療費 (50,000円)

➔ 目標額: 10~30万円を貯蓄





児童手当を上手に活用するために

①家計簿をつける

毎月の収入と支出を可視化し、児童手当を「どこに使うか」明確にする。
支出と貯蓄をバランスよく分ける

例: 毎月15,000円の場合

教育費: 7,000円

貯蓄: 5,000円

日用品・衣類: 3,000円



②目標を共有する

家族でお金の使い方を話し合い、目的意識を持つ。

さいごに

児童手当は、あなたのご家庭の未来を支える大切な資金です。

他の誰かと比べる必要はありません。

大切なのは、あなたのお子さんやご家族が安心して笑顔で過ごせるために、
今できるベストを考えること。

一歩ずつで大丈夫。

ご家族で決めた選択が、きっと明るい未来をつくれます。

今回の資料を参考に、ご家庭に合った活用法を見つけてくださいね。